



訪問ガイド 2026

シノン王城

シノン・から 12.50€

<https://forteressechinon.visit-tickets.com/ja/> ・優先入場チケット & 料金

歴史 & エクスぺリエンス

起源 & 歴史

石が語る千年の戦争史

GOOGLE 4.4 ★★★★★ 8773レビュー

TIQETS 4.5 ★★★★★ 171レビュー

シノン王城は、単なる石の積み上げではなく、生きた戦争機械としてフランスの運命を形作ってきました。その起源は鉄器時代まで遡り、ガリアの戦士がヴィエンヌ川の岩盤に居を構えた頃から始まります。ユリウス・カエサルによるローマ征服の後、この地は戦略的要衝となり、西ゴート族の抵抗やビザンツ帝国の影響を受けながら、中世の黎明期へと歩を進めました。5世紀にはすでに砦（カストルム）として要塞化され、厚さ2.40メートルの壁が古代の建築資材を用いて構築されました。463年の包囲戦において、この堅牢な防御はローマ軍の将軍アイギディウスの攻撃を跳ね返し、シノンの独立と存続を守りました。

9世紀から10世紀にかけて、プロワ伯ティボー1世「トリシュテル」が石造りの塔を建設し、現在の城郭の原型を作り出しました。しかし、真の転換点はフィリップ2世オーギュストの治世にあります。彼は3つの城を分離する乾式堀（ドゥーヴ）を掘削し、各城壁を孤立させることで防御力を飛躍的に強化しました。クードレ砦、ミディユ城、サン＝ジョルジュ砦という3つの独立した要塞は、互いに補完し

合い、ヨーロッパで唯一無二の防御構造を形成しました。この設計により、敵が一つを陥落させても他の二つが機能し続けるという、驚くべき冗長性を持たせました。

14世紀、ジャンヌ・ダルクがこの城を訪れ、シャルル7世と対面した瞬間は、フランス史における最も重要な出来事の一つです。ミディユ城内の部屋で交わされた会話は、百年戦争の行方を決定づけ、フランス王国の再生への道を開きました。この城は単なる軍事拠点ではなく、王家の権威と精神的な支柱としての役割を果たしていました。隠された王立造幣局の存在は、経済的な重要性を示しており、7世紀から13世紀にかけてシノンは王国の財政中枢の一つとして機能していました。

数世紀にわたる改修と戦争を経て、シノン王城はその姿を変え続けましたが、その本質的な戦略的価値は失われませんでした。ヴィエンヌ川を見下ろす岩の岬という卓越した地理的位置は、商業および軍事経路を監視することを可能にし、ロワール渓谷の門番としての役割を果たしました。今日、私たちはこの石垣を通じて、ガリアの剣から王家の宝座に至るまでの、千年にわたる物語に触れることができます。

体験

入口を抜けると、まず訪れる者の心を打つのは、重厚な石垣が放つ静謐な威圧感です。光が狭い窓から差し込み、床の石畳に影を描き出す様子は、時空を超えて中世の騎士や宮廷人が歩いた足跡を感じさせます。空気中には湿った土の匂いと、遠くから聞こえるヴィエンヌ川の流れる音が混ざり合い、歴史的な臨場感を一層高めます。ここでは、観光客の喧騒よりも、石自体が語る沈黙の方が圧倒的な存在感を持ちます。

3つの城を巡るにつれて、空間のスケール感が変化していきます。クードレ砦の考古学的な厳肅さから、ミディユ城の王宮の優雅さ、そしてサン＝ジョルジュ砦からの開放的なパノラマへと移り変わります。特にサン＝ジョルジュ砦からの眺望は、人混みを離れてヴィエンヌ渓谷全体を一望できる稀有な場所であり、自然光との調和の中で写真撮影の絶好の機会を提供します。訪れる者は、単なる見学者ではなく、歴史の舞台に立ち上げた俳優のような気分を味わうでしょう。



訪問の準備

実用的な情報

住所

市街地・市営駐車場（駅駐車場または市場駐車場）から徒歩アクセス可能。地下鉄や都市バスは利用できません。

営業時間

オフシーズン中は火曜日のみ休業。夏季は営業時間を延長（19時まで）。臨時休業の有無をご確認ください。

料金

7歳未満のお子様は無料。{promo}。学生および団体割引は、証明書類の提示が必要です。

所要時間

3つの異なる城をゆっくり巡り、パノラマビューをお楽しみいただくには1時間半～2時間ご予約ください。

写真撮影

外庭や展示室では自由な写真撮影が可能です。禁止されているのは、ライブパフォーマンスや特定の歴史再現イベント中のみです。

対象客層

キッズコースやインタラクティブタブレットがあるため家族連れに最適。シニアの方にも対応していますが、不整な石畳にはご注意ください。

アクセス方法

アクセス & 交通手段



地下鉄

: ヴィユー・マルシェ（旧市場広場）－ 3 min à pied

トゥール・ヴァル・ド・ロワール空港 (117 min)・ポワティエ＝ビヤール空港 (162 min)



バス

: ヴィユー・マルシェ（旧市場広場）－ 3 min à pied

トゥール・ヴァル・ド・ロワール空港 (193 min)・ポワティエ＝ビヤール空港 (268 min)



車

トゥール・ヴァル・ド・ロワール空港 (157 min)・ポワティエ＝ビヤール空港 (220 min)



自転車

トゥール・ヴァル・ド・ロワール空港 (216 min)・ポワティエ＝ビヤール空港 (302 min)

LOCALISATION

Où se trouve シノン王城？



📍 37500 Chinon, France — 37500 シノン

🌐 47°10.086' N, 0°14.137' E



組織

3つの城を巡る戦略的ルート

レベル1：クードレ砦 (Fort du Coudray)

最古の部分であり、考古学博物館が収容されています。ガリア時代の埋葬品やローマ時代の遺構が展示され、施設の起源を理解するための鍵となります。観光客がまだ少ない時間帯であれば、静かにガリアとローマの歴史に浸ることができます。

レベル2：ミディユ城 (Château du Milieu)

王宮とジャンヌ・ダルクとの出会いの部屋がある中心部です。サン＝メラン修道院を含む宗教建築もここにあり、最も人気のあるエリアであり、混雑を避けるために早めの訪問が推奨されます。

レベル3：サン＝ジョルジュ砦 (Fort Saint-Georges)

独立した防衛用の軍事要塞で、最高かつ最も孤立した地点にあります。ヴィエンヌ川を見渡すパノラマビューが素晴らしく、写真撮影に理想的です。急勾配の石畳のため、快適な靴が必要です。

アクセシビリティ

車椅子アクセス

低地帯や博物館への部分的アクセス；塔への階段は対応していません。

ファミリー向け

子供向けコース、インタラクティブHistoPad、専用プレイスペース。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



選 択

絶対に外せない8つの体験

01

ミディユ城

ジャンヌ・ダルクとの出会いの部屋

1429年にジャンヌ・ダルクがシャルル7世と対面した歴史的な場所です。この部屋での会話が、フランスの再生への第一歩となったことを想像してください。壁の石一つひとつが、その緊張感と希望を今も伝えています。

💡 ジャンヌはこの部屋で、王が偽物であるかどうかを占うための秘密のテストを行ったと言われています。

02

クードレ砦博物館

ガリア戦士の剣

20世紀の発掘調査で見つかった貴族の埋葬品です。ユリウス・カエサルが地元の退役兵士に与えた特権を示す威信ある武器であり、ローマ支配下のガリア社会の複雑な関係性を物語ります。

💡 この剣は、所有者が生前どのような地位を持っていたかを示す象徴的なアイテムとして、現在も博物館で展示されています。

03

サン＝ジョルジュ砦

サン＝ジョルジュ砦からのパノラマ

ヴィエンヌ川とシノンの屋根々々々を見渡す最高の展望点です。午後遅くの自然光は、渓谷や街並みを美しく照らし出し、写真撮影の絶好のチャンスを提供します。人混みを避け、静寂の中で景色を楽しめます。

💡 この場所から見える景色は、何世紀にもわたって戦略的な監視ポイントとして利用されてきました。

04

全館共通

HistoPadインタラクティブ体験

タブレットインターフェースを通じて、歴史をゲーミフィケーション化した体験が可能です。拡張現実のおかげで、歴史上の人物と対話し、要塞の秘密を楽しく没入型で発見できます。ティーンエイジャーに特に人気があります。

💡 HistoPadは、従来のオーディオガイドとは異なり、ユーザーが自分のペースで学習を進められる点が特徴です。

05

特別イベントスペース

エスケープゲーム『時間の守護者』

1205年の包囲戦をテーマにした没入型エスケープゲームです。シナリオはよく練られており、セットも印象的です。歴史と知的な挑戦が好きなカップルやグループに完璧です。週末はすぐに枠が埋まるため、事前予約が必須です。

💡 参加者は、実際に包囲されているような気分になり、歴史的イベントを再構成する必要があります。

06

ミディユ城

サン＝メラン修道院

ミディユ城の中心にある小さな中世の宝石です。11世紀に設立された修道院で、宗教建築に富んだ瞑想の場所です。軍事見学を補完し、精神的な次元を加えることで、全体的な体験を深めます。

💡 この修道院は、しばしば見過ごされますが、シノンの宗教史を理解する上で重要な役割を果たしています。

07

城郭全体

フィリップ2世による乾式堀

3つの城を分離するために掘られた戦略的な設備です。各城壁を孤立させることで、防御力を強化しました。これらの堀は、ヨーロッパで唯一の防御構造を形成する要素の一つです。

💡 かつては吊橋がかかっていましたが、現在は固定橋に置き換えられています。

08

クードレ砦

隠された王立造幣局

7世紀から13世紀にかけて、シノンは王国の経済活動の中核でした。この造幣局は、経済的な重要性を示す証拠であり、城が単なる居住地ではないことを証明しています。

💡 ここで製造された硬貨は、当時の貿易ネットワークを広げるのに役立ちました。

アドバイス

完璧な訪問のためのプロのアドバイス

TIMING

エスケープゲームには早めに来ましょう。週末はすぐに枠が埋まるため、プラットフォームを通じて事前に予約し、席を確保してください。

BILLET

学生および団体割引は、証明書類の提示が必要です。年間パス（Pass Privilège）は、複数回訪問する場合にコストパフォーマンスが良いかもしれません。

PARCOURS

クードレ砦から始めましょう。観光客が少ないため、ミディユ城での混雑前に、ガリアとローマの起源を静かに紹介してくれます。論理的な時系列順に歴史を発見できます。

PHOTO

サン＝ジョルジュ砦からのパノラマ写真は、最高かつ最も孤立した地点です。午後遅くの自然光が特に良く、渓谷やシノンの屋根々々の素晴らしい写真を撮ることができます。

PAUSE

見学後、シノンワインの試飲と組み合わせましょう。要塞から見える周辺のブドウ園を利用して、地元のグルメ休憩を楽しみましょう。

ENFANTS

ティーン向けHistoPadの利用をお勧めします。タブレットインターフェースは、歴史をより教育的ではなくゲーミフィケーション化し、若い層をより引きつけます。

AUDIOGUIDE

フランス語、英語、スペイン語のオーディオガイドが利用可能です。視覚障害者向けには、触知モデルや音声解説を専用受付サービスにて要請に応じて提供しています。

CONFORT

快適な靴は必須です。地面は石畳で不規則であり、岩の岬では急勾配です。ヒールや滑りやすいフラットシューズは絶対に避けてください。安定したウォーキングシューズを選択してください。



よくある質問

よくある質問

シノン王立要塞の入場料はいくらですか？

大人料金は12,50€です。学生、15人以上のグループ、多人数世帯には10,50€の割引料金があります。7歳未満のお子様は無料です。

プロモーションや年間パスはありますか？

はい、Pass Privilage（年間特別パス）では入場が無制限になり、エスケープゲームなどの有料アクティビティも割引になります。これは年に数回訪れる場合や、地域の文化ネットワーク提携施設と併用する場合にコストパフォーマンスが高いです。

チケットのオンライン予約は必須ですか？

オンライン予約は必須ではありませんが、学校の休暇期間や夏の週末は混雑回避のため強く推奨されます。オフシーズンであれば、窓口での直接購入も問題なく可能です。

エスケープゲームの支払いはどうに行いますか？

Monument Gamesは時間枠が限られているため、個別の予約が必要です。価格は選択するプランにより20€から25€の間で変動します。支払いは予約時のオンライン決済で行います。

HistoPadを使った見学はどのように行われますか？

お客様は入口でデジタルタブレットを借り受け、3D復元映像、動画、インタラクティブクイズを通じてコースを案内されます。このテクノロジーにより、物理的なガイドなしで中世を自分のペースで体験できます。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

西ゴート族の抵抗（463年）

現在の基礎は、カペー朝の王たちよりもはるかに古い歴史の上に築かれています。5世紀には、すでに史家トゥールズのグレゴリオスが述べるように、この突出部はカストルム（砦）として要塞化されていました。2.40メートルの厚さを持つ壁は、古代の建物から回収されたブロックで建設され、施設を守っていました。

ヴィエンヌ川への戦略的支配

ヴィエンヌ川を見下ろす岩の岬に位置するこの要塞は、ルデュネ地方への通路を戦略的に制御していました。この卓越した地理的位置により、川を横断するすべての商業および軍事経路を監視することが可能でした。

3つの独立した城

要塞は300メートルにわたって広がり、乾式堀によって3つの独立した城に分かれています。クードレ砦、ミディユ城、そしてサン＝ジョルジュ砦はそれぞれ特定の機能を持ち、ヨーロッパで唯一の防御構造を形成しています。

ガリア戦士の剣の秘密

20世紀の発掘調査において、サン＝ジョルジュ砦付近で剣を携えて埋葬された貴族が発見されました。現在博物館で展示されているこの威信ある武器は、ユリウス・カエサルが地元の退役兵士に与えた特権を示すものです。

博物館周辺

城の見学後は、周辺エリアでの文化的な延長を楽しみましょう。サン＝マルタン **collegiate church**は、ジャンヌ・ダルクの墓を収めるゴシック様式の傑作で、隣接しているため徒歩圏内です。その後、シノン古市博物館で地域の考古学的コレクション、特にサン＝ジョルジュ岩発掘品の詳細を確認できます。昼食や休憩には、シャトー酒窖でのシノネーワイン試飲がおすすめです。中世の雰囲気の中で地元のプロデュースを味わい、体力回復を図りましょう。最後に、グロリエット公園でシノンの屋根並みに対する別の視点からの眺めを楽しむのも良いでしょう。

シノン王城を訪れることは、過去と対話する行為です。石の冷たさと太陽の温もりが交差する中で、あなたはフランスの魂に触れることになります。この経験は、ガイドブックの写真では決して得られない感情的な共鳴を残すでしょう。帰途につく際、背後に残る城影は、あなたの記憶の中に永遠の印として刻まれるはずです。